

令和 8 年度

久喜市民文化祭

合同発表会

入場無料

会場 久喜総合文化会館 小ホール

日時 10月11日(日)

開場	1	1	時	0	0	分
開演	1	1	時	3	0	分
式典	1	2	時	3	0	分
終演	1	6	時	3	0	分

———出演団体———

- ・久喜市吟詠剣詩舞連盟
- ・久喜市舞踊協会
- ・久喜民謡連合会

主催 久喜市久喜文化団体連合会・各文化団体
共催 久喜市教育委員会

問い合わせ先 久喜市民文化祭合同発表会実行委員会
実行委員長 井上 忠昭

TEL 0480(21)3446

令和8年度 久喜市民文化祭プログラム

NO		曲 目	出演者	所属団体	私のつぶやき
1	11:30 民謡	秋田大黒舞	サニー会合唱	サニー会	皆さんで楽しく大きな声で
2		いもがらぼくと	光喜会合唱	光喜会	宮崎県民謡。いもがらは里芋の茎、ぼくとは不力。 「うどの大木」の意。日向男が日向かぼちゃの嫁をとる唄
3		南部木挽唄	小川 勝	竹韻会	岩手県の代表的な木挽唄。深山の雰囲気唄を唄い上げる。
4		謙良節	大野 芳夫	雄喜会	青森県の唄で私の大好きな祝い唄です。
5		日向木挽唄	野上 君代	竹韻会	宮崎県の代表的な木挽唄。深山の雰囲気唄を唄い上げる。
6		秩父ざんざ節	高橋恵美子	サニー会	埼玉県にこんなすばらしい曲が。
7		飯能筏流し唄	佐々木富士男	竹韻会	飯能は背後に杉・桧木・桜などの西川材を産する山地をひかえている。
8		広島木遣り音頭	岡本 輝子	光喜会	広島県民謡。皆様によく唄われている祝い唄です。
9	12:00 詩吟	後夜仏法僧鳥を聞く 空海	才木 良風	稲吟会	自然は観る人に色々な思いを与えている。自然の中にいる自分がこの詩のような心境に何時なれるだろうか？
10		胡隠君尋ぬ 大江敬香	泉 益子	稲吟会	平易な言葉と大らかで長閑な情景が浮かぶ所が好きです。
11		偶成 朱熹	関根 秀雄	稲吟会	少年老いやすくは私の好きな詩で老てもなお、何事に対しても学びなのかと。特に一吟天地の心
12		靈山 徳富蘇峰	木下 紀幸	稲吟会	京都の靈山には坂本龍馬など志士の魂が眠る。幕末の国難に命をなくした。私は志士の気持ちになって吟じたい。
13		本能寺 頼三陽	長澤 弘光	稲吟会	私は詩吟の中で本能寺の吟が大好きで、時々口ずさんでいます。今日は一生懸命吟じますのでぜひ聞いて下さい
14		丹頂の舞 佐々木岳甫	大谷 晴光	稲吟会	詩吟は先ず第一に、その詩をよく知って、詩の心に感激し共鳴する事をいう。なかなか難しいですね。
15		九月十三夜 上杉謙信	金子 文光	稲吟会	七尾城を攻略した達感城攻めから解放された安堵訪れた夜の静寂武将の感慨を詠んだ漢詩上手く表現できるか
16		名鎗日本号 松口月城	大村 照光	稲吟会	黒田節の民謡入り詩吟。酒席で愛唱される。黒田藩母里太兵が酒豪で天下の名鎗日本号を呑み取る武勇伝の唄
17		山中の月 真山民	水野 直光	稲吟会	この詩を読んだ時、昔、山小屋で見た月に感激したことを思い出して、これを吟題に選びました。
18		無欲 良寛	坂居 花光	稲吟会	良寛の心はきれいな湖のように澄み切って潔い。生涯の物語を知るにつけ、誠実と無欲無私を尊敬し憧れる。
19		忍字に題す 中江藤樹	中込 信光	稲吟会	人の感情は七種あり、耐え忍ぶことで真の境地になれる事を詠った吟。希望を持ち残り少ない人生の糧にしたい。
20		武野の晴月 林羅山	荒井 和光	稲吟会	詩吟を始めた頃今は亡き友と出ない声に苦労したあの頃が蘇ってきます。上手になったと言われるよう頑張ります
	12:30	式典			

NO		曲 目	出演者	所属団体	私のつぶやき
21	13:00	京の四季	島貫累美子	静富士会	
22	舞踊	年輪	竹之内かつよ	静富士会	
23		関東春雨傘	田口しのぶ	静富士会	
24		命咲かせて	長島ふじ子	芳富己会	
25		千鳥の舞	藤間芳富己	芳富己会	
26		花鳥風月	高柳 悦子	葵美寿郎会	
27	13:30	出雲木遣り唄	草間 陽子	雄喜会	中学校の頃、兄や姉達は我が家で結婚式を挙げてました。そんな事を思いうかべて唄います。
28	民謡	忠義桜	大竹 米子	サニー会	元気よく。
29		鱈ヶ沢甚句	柿沼 完詞	みんよう 新星会	チカラ強さと精一杯生きる。心にしみます。 明るく唄うように…
30		津軽あいや節	井手上弘子	民謡愛好会	津軽民謡で一番好きな唄です。頑張って唄います。
31		長崎ぶらぶら節	飯島 淑子	光喜会	長崎県民謡。長崎の遊郭で唄われたお座敷唄、三人行事を唄っています。
32		荒川土端打ち唄	岡田 敏之	雄喜会	埼玉県の唄で土端打ちです。埼玉の地名も出てきます。
33		秋田おばこ	秋元 才子	民謡愛好会	秋田は民謡の宝庫です。中でもこの唄は一番人気の唄、若い娘さんの姿を唄ったものです。

『令和8年度 合同発表会 構成吟』

「義経」を題材に構成吟にしました。吟と共に聴きください。

34	14:00	1 常盤弧を抱くの図 梁川星巖	大村 昭光	梁川星巖は、吹雪の中を逃げ惑う常盤、懷で乳を求めて泣く赤子、その絵を観て詩を詠んだ。この赤子の泣く声が、鉄拐山山頂で平家打倒と三軍を叱咤した声なのか、と。義経の赫赫たる功績・続く悲惨な運命、義経の生涯の中で最も輝いた華のある時がこの時であったと見て傑作を詠みました。
35	詩吟	2 平の敦盛 網谷一才	水野 直光	都風に染まった平家の公達と、原野を走駆し鍛え貫いた坂東武者が「一の谷」で激突した。毎夜の笛の音は戦場の慰め、敦盛の死は滅びゆく平家の象徴、打取った熊谷直実は出家し若武者を弔った、戦国の世の無常と罪深さを感じさせる。
36		3 稗搗の歌 松口月城	坂居 花光 今様 女性会員	頼朝は清盛の母の助命嘆願で九死に一生を得た。平家残党の復讐を怖れた落人狩りは過酷を極めた。平家の残党は人目の届かぬ僻地秘境に隠れ住み、再起を期す生活は悲惨をきわめました。宮崎県”椎葉の歌“は今にまで伝わり涙を誘います。
37		4 静御前 漢詩 頼山陽 和歌 静御前	金子 文光 荒井 和光	静は頼朝の所望で、坂東武者の居並ぶ鶴が岡八満宮の社前で、“義経恋し”と唄い舞うのでした。頼山陽は「静」の何者をも恐れぬ信の強さと貞節に感じ入り、静の唄う“静のおだまき繰返し”を引用し、中国古事と組み合わせ見事な詩を創りました。
38		5 平泉懷古 大槻盤溪	(先導) 木下 紀幸 会員全員	奥州藤原氏三代目秀衡は、奥州の安定をおもんばかり、「義経」を幼少の頃から保護し、将来は主人にして頼朝に対抗させよと遺言さしていた。義経は頼朝の探索を逃れ平泉に潜んで居たが、秀衡の死後子泰衡は頼朝の追求に抗しきれず義経を自刃させた。頼朝は義経処分後平泉を平定、全国を統一鎌倉に武家政権を建てたのでした。
39		6 奥野細道より 「平泉」 芭蕉	稲毛 昭光	芭蕉は早くからの念願であった藤原三代栄華の地、また義経終焉の地である「平泉」を訪れて名句を詠んだ。悠々と変わらない自然、限りある人生、人間の生き方を考えさせられる最高傑作です。名詩は心の底まで染み入りますね。

NO		曲 目	出演者	所属団体	私のつぶやき
40	14:30	大器晩成	齋藤 孝子	友栄会	
41	舞 踊	老 松	中村 恵郷	友栄会	
42		松の緑	青木 忠孝	友栄会	
43	15:00	秋田飴売り唄	岡戸 文子	サニー会	楽しく。秋田県に変わった曲が。
44	民	こきりこ節	林 正子	みんよう 新星会	メロディーにひかれて口ずさむのが楽しい唄です。この富山県民謡は日本最古の唄で長さ 23 cm位の乾燥した細竹（小切子）を2本持って打ち鳴らすのが特徴です。
45	謡	九州炭坑節	武井 光枝 長谷川みよ子	サニー会	皆さんで楽しく唄い舞いましょう。
46		万才くずし	大西 正晃	みんよう 新星会	お座敷唄第 45 弾！踊り入りでお送りします。この佐賀県民謡は目出度い言葉ばかりで慶事にはぴったりの唄です。
47		津軽じょんから節	伊藤 良弥	民謡愛好会	津軽民謡と云えばじょんがら節。津軽三味線共に勉強致しました。
48	15:30	金沢の雨	坂東久三菜	久三菜会	
49	舞 踊	みだれ髪	金坂 良子	美智京会	
50		おはん	神谷 啓子	美智京会	
51		風雪ながれ旅	若藤京志乃	美智京会	
52		小 春	河藤 京花	美智京会	
53		ひとり貴船川	河藤美智京	美智京会	
54	16:00	下町育ち 雪椿	光喜会合奏	光喜会	皆様よく御存知の曲を三味線、尺八で演奏します。御一緒に唄って下さい。
55	民	江差追分	島辺 政秀	雄喜会	江差追分は北前船の船頭たちが本州から持ち込み二百～三百の歳月を経て現在の旋律になりました。
56	謡	足尾石刀節	佐藤三津声	民謡愛好会	この唄は栃木県足尾銅山で銅の採掘の労働者の生活の姿を唄ったものです。
57		酒田甚句	早坂 光喜	光喜会	山形県民謡。酒田港が栄えた頃、お座敷でよく唄われたさわぎ唄です。

<お願い>

※各団体の開始時間は目安です。前後ずれることがありますのでご了承ください。

※プログラム進行中の会場内での会話はお控え頂けますようお願いいたします。

※携帯電話は、事前にマナーモードへのお切り替えをお願いいたします。

